

雨の日の月の女

映像学科

山川直人

Rainy Day Woman of the Moon

Department of Imaging Art

YAMAKAWA Naoto

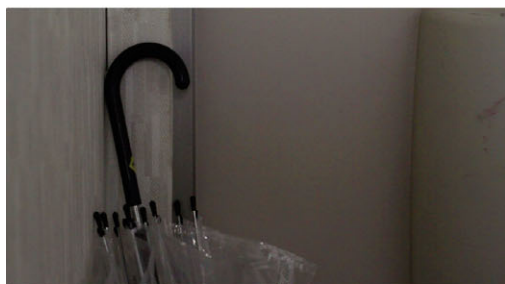
雨の日の月の女

5 分 30 秒
QT 1920X1080

出演 浩二…湯坐拓也
沙織…柳田綾子

企画…仙田麻子
プロデューサー…齊藤真澄
撮影助手…柳澤光一
照明…助川祐樹
録音…三嶋宏彰
音楽…小松 哲

監督・脚本・撮影・編集…山川直人



1 部屋の中

浩二が玄関の扉を開ける。
沙織が入って来ておみやげの紙袋を
浩二に渡す。
着ていたコートをベッド脇に置く沙織。

立てかけた傘から雫が床に溜る。
メインタイトル

皿に乗せられたパン。

X X X



ルーンをしている二人



浩二 M「沙織が家に来たのは一ヶ月前で、
その日も雨だった」

沙織 M「私の記憶では、ここに来たのは三日前。
曇。」



浩二 M「彼女が来る日はいつも雨で、ここから
ぬけ出せない。」

沙織 M「私はいつでも、どこへでも行ける。」





浩二、立ち上がり、部屋を出ようとして、
出られない。

浩二M「沙織は時々、時間を飛ばしてしまう
のだ。」

沙織M「私には浩二が瞬間移動するように
見える。」

瞬間移動する浩二。

浩二M「もちろんぼくは瞬間移動なんかして
いない。」

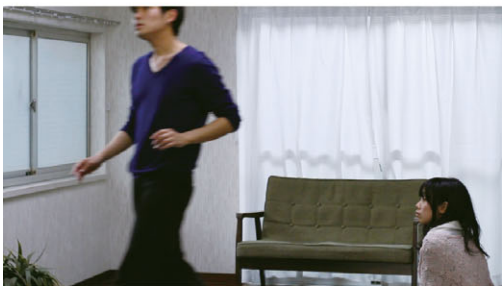
沙織M「私も時間をとばしてなんかいない。」

浩二M「でもぼくには時々、沙織がどこか
別の世界に行ってしまうように
見える。」

別の世界に行っているような感じの沙織。

浩二M「たぶん沙織が別の世界に行っている
間に、ぼくが動くので、戻って来た時に
瞬間移動したように見えるのだ、
と思う。」

沙織M「きっと私が見たいものしか見えない
ように、浩二も自分の考えたいように
しか考えないのだ、と私は思う。」





沙織、立ち上がり、部屋の外に向かう。
壁の空いた部屋から出て行く沙織。

2 スタジオ

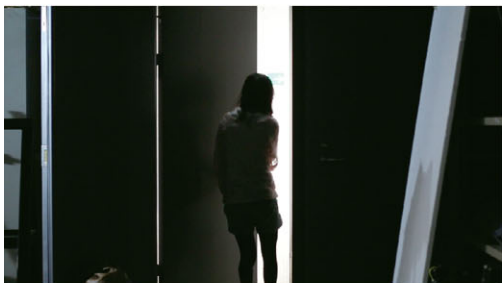


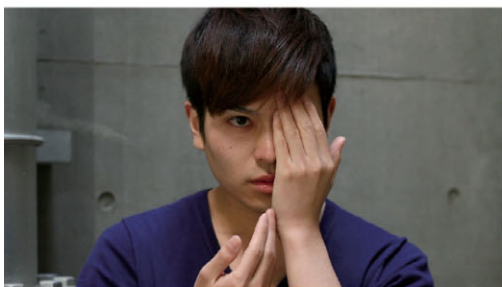
スタジオを通り抜け、扉を開ける沙織。
浩二M「恐らく、沙織は何か別の基準の中で生きて
いるんだ。例えば・・・太陰暦？」
沙織M「そうね、そうかも。何しろ私は月を
纏っているのね。」

3 スタジオの外



外に出て歩いて行く沙織。
歩く沙織の足元。
沙織、歩いて行くと、曲り角の向こうに
浩二がいるのを見つける。





沙織、振り向き、浩二と向かい合う。
ゆっくりと顔を片手ずつ覆っていき、
またゆっくり戻す二人。
月の満ち欠けのように。

沙織、浩二に微笑む。
微笑みを返す浩二。

プロデューサー
斉藤真澄
撮影助手
柳沢光一
照明
助川祐樹
録音
三嶋宏彰
音楽
小松 哲

出演
湯坐拓也
柳田綾子

監督・脚本・撮影・編集
山川直人